

## 1. 府中市の概況

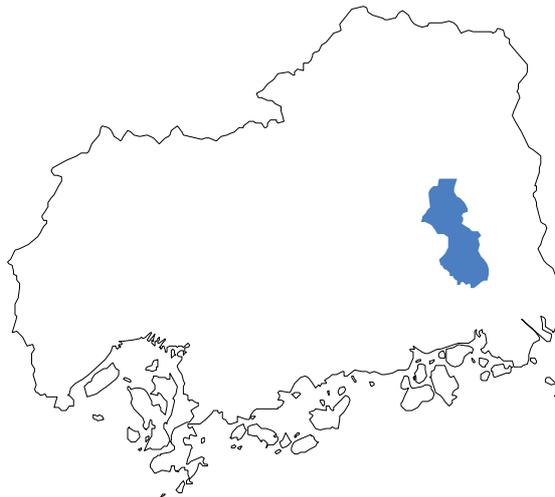
### (1) 地勢と歴史

広島県東南部に位置し、中心地から主要都市までの距離は、福山市へ18km、広島市へ90kmとなっています。

面積は195.71km<sup>2</sup>。地勢は、三方を山に囲まれ、西北部から東南部にかけて県内三大河川の一つである芦田川が縦貫しているほか、上下地区には日本海に注ぐ江の川水系の上下川があり、分水嶺の地となっています。

府中市の気候は、平均気温が約14℃となっていますが、山間部では、最低気温が-10℃を下回る寒冷な地域もあります。また、年間降水量は約1,300mmとなっています。

府中市には、律令時代の頃、備後国府が置かれたと伝えられ、数多くの遺構・遺物が出土し、現在、備後国府の解明に向けて、発掘作業が続けられています。昭和29年に芦品郡府中町、岩谷村など周辺6カ町村が合併して府中市が誕生しました。その後4カ町村が編入合併、平成16年には上下町を編入合併し、現在の市域となっています。





## (2) 人口

平成12年国勢調査における府中市の人口は、47,697人で、昭和45年の58,364人をピークに減少傾向が続いています。

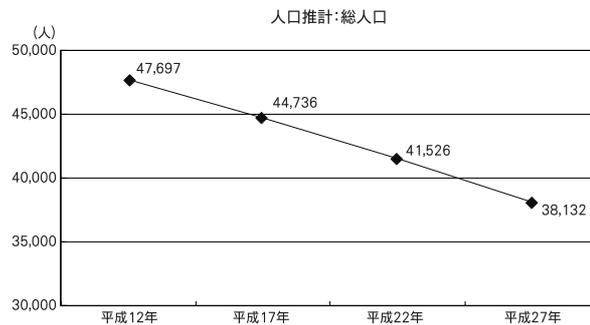
年代別人口をみると、平成12年国勢調査では65歳以上の高齢者比率が23.9%となっており、広島県全体の18.5%より高くなっています。

65歳以上の高齢者人口が年々増加傾向にある一方、0～14歳の年少者人口と15～29歳の若年者人口は年々減少傾向にあります。

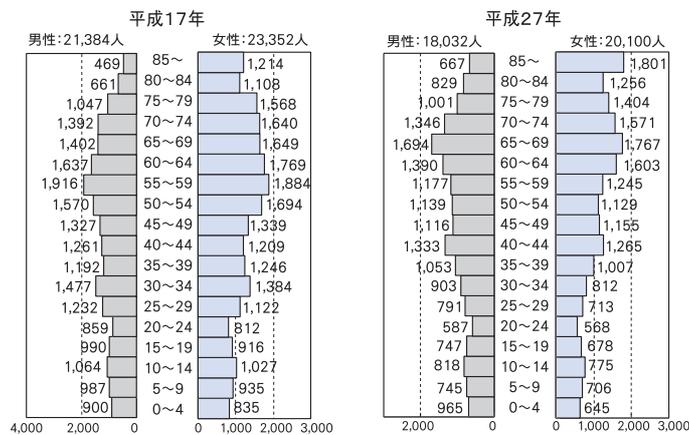
今後の人口見通しについても、出生率の低下、転出による社会減少などの要因により、引き続き減少傾向で推移し、平成27年には、38,132人となることが予測されます。

人口見通しを年代別にみると、高齢者比率の増加が目立ち、平成12年の23.9%から平成27年には35.0%に増加していくことが予測されます。

人口推計・総人口



男女年齢5歳階級別人口の予測





### (3) 産業

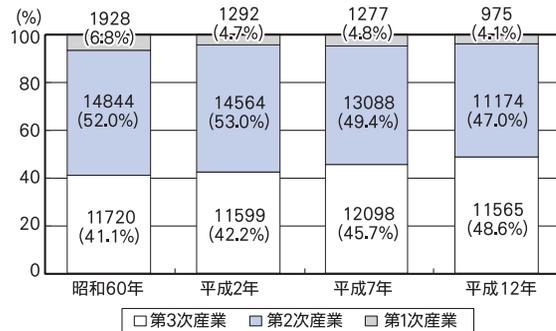
#### 産業構造

府中市の就業者人口は、平成12年の国勢調査では、23,784人で、昭和45年の33,803人をピークに減少傾向にあります。

府中市は、家具・機械金属・繊維など製造業の都市として全国的に知られており、地域特性を示す特徴的な部分です。平成12年の産業別就業人口の割合をみても、第二次産業の割合が47.0%と高い割合を示しています。

第一次産業の就業者人口は年々減少しており、平成12年には975人と全体の4.1%に縮小しています。第三次産業については、第一次、第二次の減少傾向に比べ安定した就業者数を保っており、平成12年には産業別就業人口の割合が48.6%となり、第二次産業を上回っています。

産業別就業者数の推移



上段は就業者数、( )内は構成比、分類不能の数値を除く (出典：国勢調査)

#### 農業

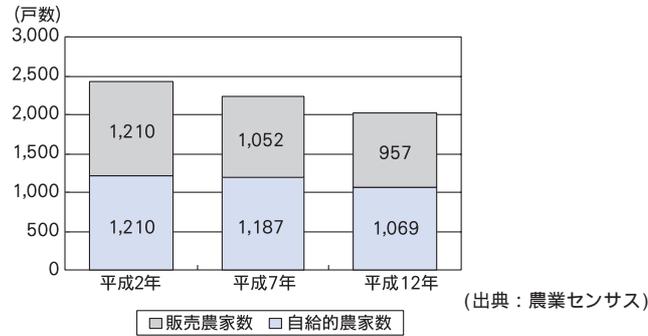
農家数は平成12年では2,026戸で平成2年の2,420戸から10年間で16.2%減少しています。

農産物は米・野菜などが中心となっていますが、農家数の減少とあわせ、農業産出額も年々減少しており、平成14年では約16億円程度となっています。

生産農業所得についても、平成8年には8億円を超えていましたが、平成14年には、6億円台に大きく低下しています。



### 農家数の推移

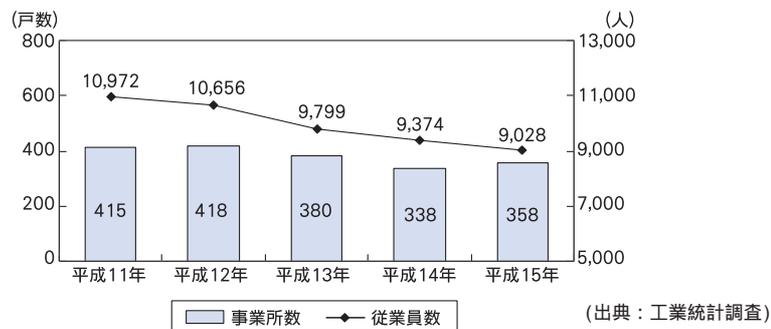


### 工業

平成15年の工業統計調査では、事業所数は358事業所、従業者数は9,028人となっており、ここ5年間の推移をみると、事業所数は13%減少、従業者数は17%減少しています。

製造品出荷額などの推移をみると、平成3年には4,000億円近くありましたが、平成15年では約2,552億円まで著しく落ち込んでいます。

### 工業事業所数・従業者数の推移



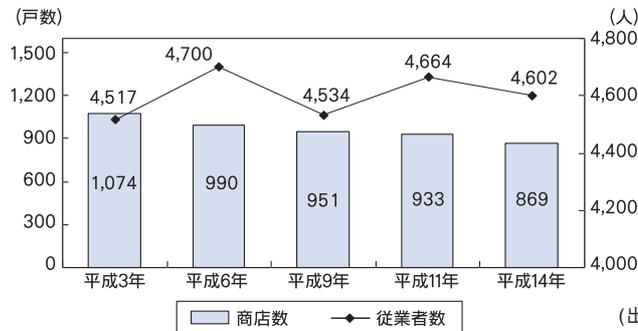


### 商業

平成14年の商業統計調査では、商店数は869店、従業者数は4,602人、年間商品販売額は約970億円となっています。商店数は、昭和57年の1,181店をピークに年々減少をしています。

生活圏の広域化や大型店舗の進出などにより、これまでの商店街のもつ消費者への吸引力は急激に低下しており、空洞化が進んでいます。

商店数・従業者数の推移



(出典：商業統計調査)

### 観光

府中市の観光資源としては、河佐峡・三郎の滝・四季の里・白壁のまちなみ・矢野温泉などがあげられます。

また、ドレミファフェスティバル・産業メッセ・あやめまつりなどのイベントが毎年開催され、多くの観光客で賑わっています。



矢野温泉公園 四季の里



河佐峡



白壁のまちなみ



## 2. 広域圏（備後圏域）における府中市の位置づけ

府中市は、広島県東部に位置する備後地域に属していますが、特に広域的な生活圏として結びつきが強い福山市を中心とした広域圏が形成されています。

本圏域では、圏域の振興・発展を図るため平成15年に「福山・府中ふるさと市町村圏計画」を策定しています。

また、備後地域全体での「ものづくり」産業を担う県内第二の中核都市圏としての振興・発展の方向づけを示す「備後地域リノベーション 構想」を平成15年に策定しています。

### (1) 福山・府中ふるさと市町村圏計画（平成15年～平成24年）

圏域の将来像：「人とみどりが輝く ふれあい拠点 びんご」

海の碧（みどり）、山の緑（みどり）の豊かな自然と住民生活が調和した環境にやさしい圏域づくり

思いやりの心をもって心豊かにふれあう人にやさしい圏域づくり

東西南北に開かれた高速交通体系の要衝に位置する優位性を生かし、圏域一体となったふれあい交流事業を起爆剤とする活力ある圏域づくり

郷土を愛し、みんなで夢を描ける住民主役の圏域づくり

圏域づくりの戦略

圏域全体の均衡ある発展をめざした広域交通網の整備促進と広域産業振興事業の推進

行政間・住民間の広域ネットワークづくりの推進

圏域全体で支えあいふれあうびんごの拠点づくり事業の推進

広域行政体制の充実強化

府中市の役割

福山市の中核的拠点機能を補完する圏域のサブ拠点機能

産業支援機能の充実・新産業・物流拠点の形成

道路交通体系の整備促進などによる既存産業の活性化や新産業の創出

市街地再開発事業や生活基盤・定住拠点整備、歴史資源のネットワーク整備



## (2) 備後地域リノベーション構想 (平成15年)

備後地域の将来像：「国際ものづくり・環境生活圏」  
国際的競争力を備えた「ものづくり産業圏」  
自律する都市のネットワークに支えられた交流・生活圏  
循環型社会の形成を先導する「ゼロエミッション」地域

### リノベーションの目標

国際的競争力の高い産業集積地域への再生  
産業空洞化に立ち向かう地域産業の新展開  
中四国の十字路地域における広域物流・観光機能の強化  
びんご新生都市ネットワークの形成  
低・未利用地の有効活用  
リノベーション人材の育成・活用のネットワーク形成

### 府中市の役割

世界に開かれたものづくり国際中核拠点都市圏の形成  
既存産業集積の高度化：アパレル産業、家具・木製品産業  
新たな産業集積の創出：環境産業・バイオ産業  
「ものづくり直販工房」などの地域企業商品の直販店の展開  
地場産業の産業集積を生かした産業観光の振興

### < 府中市の都心強化の方向 >

ものづくりと歴史文化を生かした南北一体型都心の形成

- ・ 中心市街地の顔となるにぎわい集積ゾーンの形成
- ・ 産業と歴史文化を生かしたまちなみと歩行者ネットワークの形成
- ・ 南北軸の整備